

第15回青梅市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時 平成30年4月11日（水）13:00～14:15

会 場 青梅商工会議所 第一会議室

1. 開会挨拶 小澤会長

2. 確認事項

- (1) 資料の確認
- (2) 定足数の確認
- (3) 前回会議録について

3. 報告事項

- (1) 各事業の進捗状況
 - ①青梅市・・・資料1, 2
 - ②(株)まちづくり青梅
 - ③青梅織物工業協同組合
- (2) タウンマネージャー報告・・・資料3

4. 協議事項

- (1) 平成29年度事業報告および収支決算書について・・・資4, 5
- (2) 平成30年度事業計画(案)および収支予算書(案)について・・・資料6
- (3) 基本計画における平成29年度の取組等について

5. その他

- ・次回開催日 平成30年10月予定

6. 閉会挨拶 池田副会長

(配布資料)

- ・名簿
- ・前回議事録
- ・基本計画事業一覧(平成29年度事業進捗状況)(資料1)
- ・青梅市新生涯学習施設(仮称)実施設計概要(資料2)
- ・平成29年度青梅市中心市街地活性化の進捗(資料3)
- ・平成29年度事業報告(資料4)
- ・平成29年度決算書(資料5)
- ・平成30年度事業計画(案)および収支予算書(案)(資料6)

司会	<p>定刻になりましたので、第15回青梅市中心市街地活性化協議会を始めさせていただきます。初めに委員に変更がありますので、ご報告させていただきます。</p> <p>—委員変更の報告—</p> <p>では開催にあたり小澤会長よりご挨拶をいただきます。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。4月は色々とお忙しい時期となりますが、お集まりいただきありがとうございます。この中心市街地の取り組みは、外部からはなかなか見えてこないといった事を言われますが、着実に進めている事をお伝えしています。焦って進める事でもありませんので、より良い形で進め、また進めること自体も、青梅にとって貴重な経験する過程になっていると思います。本事業は青梅市の為のキーポイントの一つになっていると思いますので、慎重なるご審議をお願いします。</p>
司会	<p>ありがとうございます。なお議事進行については、小澤会長にお願いをしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>では確認事項について、事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは確認事項についてご報告します。まず、配布資料のご確認をさせていただきます。</p> <p>—資料の確認—</p> <p>資料漏れ等はありませんか。続きまして、定足数の確認をさせていただきます。本日の出席状況ですが、定数35名に対し出席者15名、委任状出席12名、合計27名となっております。協議会規約第12条第2項によりまして、委員の過半数の出席をもって本協議会は成立となります。本日の出席者数は27名ですので、本協議会は成立することを報告します。次の、前回会議録についてですが、本来であれば事前にお送りするべきでございますが、本日の配布となり申し訳ありません。前回の協議事項としては、基本計画の変更(案)に対する意見書(案)についてご協議をいただきました。詳細についてはご一読いただき、お気づきの点やご質問等がございましたら、事務局までご連絡をお願いします。なお基本計画の変更については、昨年11月28日に内閣府の認定をいただいた事をご報告させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは報告事項に移ります。各事業の進捗状況について、青梅市木崎課長よりお願いします。</p>
青梅市	<p>青梅市の取組状況について、主な事業および新規事業を中心に説明します。まず、「生涯学習施設(仮称)整備事業」です。平成29年度は、基本計画の取りまとめを行い、基本設計・実施設計、また、平行して計画地に残っていた旧青梅市民会館の解体工事を行っています。平成30年度は本体工事を行う予定で、平成31年度の開設を予定しています。施設の詳細については、後程ご説明いたします。次に、「新市民ホール等複合施設(仮称)整備事業」です。平成29年度は、当該計画地の活用について「東青梅1丁目諸事業用地</p>

等利活用構想」を策定しました。今後、平成30、31年の2ヶ年で、この「利活用構想」をもとに、より詳細な事業用地の利活用について検討し、「東青梅1丁目諸事業用地等基本計画」を策定する予定です。次に、基本計画に位置付けられている都市計画道路3事業の整備状況についてです。はじめに、3・5・26号線(通称キネマ通り(永山公園通り))の整備事業です。これまでに用地買収を進めるとともに、平成29年度は、運動広場部分の拡幅および擁壁工事を行っています。平成30年度については、引き続き一部未買収部分の用地買収、擁壁工事等を行う計画です。続いて、東青梅1丁目諸事業用地(ケミコン跡地)に接する2つの都市計画道路です。まず、東西方向に接する3・5・5号線(新奥多摩街道：福祉センターから青梅総合高校正門付近)の整備事業です。この事業は、都に替わって都道を市が整備する「新・道づくりまちづくりパートナー事業」として進めています。平成29年度は仮設道路の設置工事を行っており、平成30年度については、引き続き、用地買収、仮設道路の設置工事、電線共同溝整備工事などを進める予定です。続いて、ケミコン跡地南北方向に接する3・5・24号線(「根ヶ布・長淵線」、青梅総合高校東側から千ヶ瀬2丁目交差点)の整備事業です。こちらは用地買収が完了しており、平成29年度において法面部分の擁壁工も完了しています。平成30年度は、青梅街道方向から順次街築工事を行い、平成31年度の事業完成を予定しています。次に、「景観まちづくり事業」です。平成29年度は、青梅織物工業協同組合が所有する旧加工工場の修景に対する助成を行いました。平成30年度は、七兵衛通の美装化について、青梅市まちづくりデザイン専門家会議のアドバイスのもと進める予定です。次に、「健康と歴史・文化の路」整備事業です。本事業は、「健康と歴史・文化の路」として位置付けられた市道について、道路景観に配慮した舗装の整備を行う事業です。裏宿町から青梅駅までの七兵衛通について、裏宿市営住宅東側から青梅駅方向に順次整備を進めており、平成29年度は森下地区68mの整備を行い、これまでに合計で約120mを整備しています。平成30年度については、森下地区86mの整備を予定しています。続いて、青梅市新生涯学習施設(仮称)の詳細についてです。本事業は、平成28年度に策定した青梅市公共施設等総合管理計画において、先導的再編モデルの一つに位置付けており、青梅市初の公共施設再編事業になります。市民会館、青梅市民センター、永山ふれあいセンター、釜の淵市民館の4つの公共施設を統合し、機能的充実を図ります。施設の詳細についてですが、敷地面積1,440.02㎡、建築面積704.61㎡、延べ床面積3,119.17㎡で、構造は鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造となっています。建物の階数は地下1階、地上4階建てで、工期については平成30年4月上旬から平成31年3月中旬までの1年間を予定し、開館は平成31年4月中旬を予定しています。次に計画建物の配置図です。旧市民会館の西側にありました道路を東側に付替え、建物は今までより青梅商工会議所側に寄せます。南側の国道411号側(青梅街道側)には、前庭広場を設置し、建物の北側(七兵衛通り側)には、障害者用の駐車場や駐輪場を設置すると共に、災害時における利用を考慮したマンホールトイレを設置します。次に地下1階、地上1階の平面図です。地下1階については、南側から防音機能がある大・中・小活動室を配置します。特に大活動室と中活動室は壁やサッシを2重構造にし、音楽活動や太鼓演奏などにも利用できる防音・耐振動に優れた部屋になります。また西側には倉庫を集約し、あわせて防災倉庫も配置しています。次に1階平面図

です。建物の南側には前庭広場があり、ここから繋がるように展示交流スペースを配置しています。また、外部空間との仕切りサッシは移動式となっており、全てを解放出来る構造になっています。さらに、多目的ホールの南側も遮音性の高い移動間仕切り壁で仕切り開け広げることによって、前庭広場との一体利用を可能としています。中央の多目的ホールは平土間形式で、スタッキングチェアを271席並べることが出来ます。また北側に配置したステージは電動式昇降ステージとし、80cm上昇する構造となっています。また、この多目的ホールの東側スペースについては、南側に配置したエントランスおよびカフェコーナー、展示交流スペースへと繋げ多目的ホールのホワイエとするとともに、東側の窓際へはハイカウンターテーブルと椅子を並べるなど、誰でもふらっと立ち寄れる「ふれあいの空間」としました。次に、地上2階、3階の平面図です。先ず2階平面図をご覧ください。この階の特徴としては、東側に幼児用、児童用とそれぞれのキッズスペースを設置します。特に幼児用のキッズコーナーは、低いカウンター書庫や収納で廊下と区画するとともに、授乳室を併設しています。南側の交流スペースは、地上1階との繋がりのあるスペースとして使用できるよう吹き抜け空間に接しているとともに、3階に設置する展示交流スペースからは、シャッターを開けると地上1階の多目的ホールが眺められるよう配慮した構造としています。また北東の角には事務室を配置しており、この場所へ青梅市民センターを移転する計画です。次に、3階平面図です。南側には縁側テラスとしてバルコニーを設置し、隣接する展示交流スペースと一体となって、屋内と屋外を通じた市民の憩いの場を創出します。活動室については、料理教室や自治会活動等に使えるように調理台を4台設置した部屋の他、大活動室および中活動室は、多目的な文化・生涯学習活動に使用できるよう、大型鏡やホワイトボードを設置しています。なお、活動室と展示交流スペースになる廊下を隔てる境壁はガラスとなっており、室内での活動が見られるようになっていますが、必要に応じてロールカーテンで遮ることも出来るようになっています。東側の大活動室は通常の文化・生涯学習活動室としていますが、非常時には災害対策本部室として使用することを想定し、必要な電気・通信設備などを備えています。次に地上4階、屋上の平面図です。先ず、4階平面図です。この階の特徴としては、3階と同様に南側に縁側テラスを設置しています。隣接する展示交流スペースと一体とすることで、屋内と屋外を通じた市民の憩いの場を創出しています。なお、この縁側テラスに示しております円形の物は、3階の縁側テラスへの明り取りとなっています。この階には、大・中・小の活動室を配置している他、大活動室の北側には和室を配置し、襖で仕切ることで二部屋として使用できるとともに、水屋を設け茶道等の利用も想定しています。西側の大活動室と中活動室は、移動間仕切り壁で仕切られており、解放することで大きな一部屋としても使用できるようになっています。東側の小・中活動室についても、全ての部屋が移動式の間仕切り壁としており、一体使用が可能となっています。なお、各部屋と展示交流スペースにもなっている廊下を隔てる境壁も、出来る限り広く開けられるような扉としています。次に、屋上平面図です。西側は屋外機械置場とし、冷暖房や電気設備の屋外機器を設置する場所とします。また、東側は、周囲に屋上緑化を配置したテラスとし、床をウッドデッキで仕上げ、上部には日よけルーバーを設置します。なお、この屋上階まではエレベーターで来られるようにしており、市民へ開放することを計画しています。最後に、本施設の完成予

	<p>想図です。建物の特徴としては、外壁に縦格子のルーバーを設置し、青梅の街並みに調和するデザインとしたことです。おおよそ、このような建物になるものと予定しています。市の事業の進捗状況としては、以上となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明に対しましてご意見ご質問等はございますか。続きまして各事業の進捗状況について、(株) まちづくり青梅の報告をお願いします。</p>
委員 (野寄)	<p>(株) まちづくり青梅の報告ですが、後程のタウンマネージャー報告、中活協議の事業報告と重複する部分がありますので、概要のみご報告させていただきます。まず収益事業である駐車場事業ですが、先程のご説明にもありましたキネマ通りの拡幅工事による代替地として、住江町駐車場の北側一部を青梅市へ返す事になり、駐車台数が5台分減っています。なお、こちらで開催している青梅マルシェですが、会場は狭くなったものの今までと変わらずに開催ができています。続いて青梅マルシェについてです。出店者からなる実行委員会を組織し、運営の一部をお願いし、通りから見やすい看板の設置や、手に取りやすいサイズのチラシの作成、出店規約の整備などを行っていただきました。今年については、1, 2月は寒さもありお休みをしましたが、3月からは通常通り開催しています。夏には昨年好評をいただいたビアガーデンの開催や、市では開催の予定が無いとの事ですので、オクトーバーフェストに代わるもイベントの開催を計画しています。アキテンポ不動産については、昨年度は2店舗のオープンがあり、今月の27日には青梅麦酒というクラフトビールのお店の開店が控えています。アキヤ不動産については、青梅市住宅施策推進協議会と協議を重ねており、1月には空き家の見学会を開催し、10名の方にご参加いただきました。その後、1件の成約があったとの事です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。着々と進行しているようですね。続きまして青梅織物工業協同組合よりご報告をお願いします。</p>
委員 (太田)	<p>ここで、文部科学省の助成金をいただいております、この機会を1つのチャンスと捉え、一番古めかしいノコギリ屋根の工場跡を昨年11月から改修工事を始め、ゴールドウィーク明けには完了する予定です。最初は500万円程度の予算を見込んでいたのですが、改修をすればするほどボロが出てきてしまい、合計で1,000万円程度の改修工事になりそうです。現在は用途を検討しているのですが、大雑把には撮影などのロケ地として積極的に売り込んでいく事を考えています。調べましたところ、昨年は西多摩地域に200件程の実績があるようで、私どものところにも引き合いは何件かありました。ここら辺でも明星大学は実績を挙げており、円谷プロなども来ているようです。西多摩地域は安いし、都心からも近いので、ロケ地としてのニーズは高まっているように感じています。投資した分は回収しなければなりませんので、そういった風を逃さないようにと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。続きましてタウンマネージャー報告をお願いします。</p>

平成30年度も経産省のご支援をいただける事になりましたので、今年1年間よろしく願いします。青梅市はタウンマネージャーの起用について上手くいっている方だと言われていますが、これもひとえに商工会議所、行政の皆様のご協力あっての事だと思っています。しかし、取り組んでいる事業については成果を出すように努めていますが、それ以上に市街地は苦しい状況になっているので、皆様のお知恵を結集いただいて活性化に取り組んでいきたいと考えています。では市街地の状況についてご報告させていただきます。市街地の再生において成功している事例として数えて頂いており、上手く仕組みが回っていると評価を頂いているのですが、タウンマネージャーとして3つのポイントを心掛けているのでお話させていただきます。それは、仕組み作りと、青梅は活気がある街とイメージしてもらえるような情報発信、街の活性化に寄与できるようなプレイヤーを街の中に集めるエリアマネジメントです。仕組みについては、アキテンポ不動産やアキヤ不動産。イメージ作りについては、青梅マルシェを毎月開催し情報発信を頻繁に行っていますので、そこからのイメージ戦略を意識しています。また、街なかにどのような方に入っていただくというようなエリアマネジメントについては、(株)まちづくり青梅で管理を行っています。そのような中で、アキテンポ不動産とおうめマルシェの両事業を実施してきた事の相乗効果も出てきています。アキテンポ不動産においては現在までに3回の見学を実施しています。賃貸に出ていなかったような物件を開拓し、20件紹介し、そのうち10件の開業に至っています。地元の不動産事業者からも驚異的な成約率だと評価を頂いています。駅前のウィークエンドショップを含めると、全体で12件の開業があり、その内の4件はおうめマルシェの参加経験がある方でした。皆さんもご存じの通り、おうめマルシェは会場だけでなく周辺の商店も歩いていただけるよう毎月開催していますが、会場内には勢いのある若者を選定し集めている事もあり、これまで見向きもされなかった市街地に精鋭を集め参画を募る事で、このエリアでの開業を考えていただけるようなところに繋がってきている事が、結果に表れているのだと思います。定期的な商店街とマルシェ会場とでのPR実施により、地域内外の消費者に足を運んでいただけているのだと思います。また商店街の若者も奮起しており、青梅えきまえネットワークという商店街を隔てることなく若手が集まり、新たなイベントとしてわけありもの市が立ち上げられ、マルシェと同時開催されています。2018年3月までの中心市街地の周辺も含めた新規開業数は64件、廃業数は49件であり、純増の状態を保っています。まちづくり会社によるものもありますが、自然開業など、相乗効果が出ているものと思います。それは、青梅がまちづくり対し積極的に取り組んでいるという事で、多くのメディアにご紹介いただいた事も影響していると思います。開業と廃業の状況については昨年度から大きく変わっていませんが、あえて言うならば開業については飲食店と問い合わせは依然として多く頂いていますがご紹介できる物件が無いのが現状で、廃業については、じわじわと小売業の廃業が出てきています。中心市街地活性化における波及効果ですが、元々東青梅駅方面では賃貸物件が多くあったのですが、青梅駅エリアで雰囲気の良いお店を重点的に開拓していく事で、反対に躯体などの条件の悪さもあって東の方に流れたケースもあるように感じています。また、青梅市住宅施策推進協議会とタイアップする形でアキヤ不動産が始まりました。ご案内した物件は全て売買でしたが、蓋を開けてみれば参加者は賃貸でご商売もできる物件を希望される方が

多くいらっしゃいました。ただ、空き家の見学ツアーをテレビ朝日のスーパーJチャンネルでご紹介いただいたところ、2年間ほど動きが無かった大柳の物件が成約に至りました。市街地を取り巻く環境ですが、依然として居住人口は減少傾向にありますが、商店主の話では、昔からお住まいでなく、今まで見たことがない子育て世代の方を目にする機会が増えたとの事です。観光案内所でも住宅を探していると訪れる方がこの1, 2年で増えているとの事ですので、なかなか表に出てこない情報についても注視していきたいと思っています。子育ての時期や、竟のすみかの延長である別荘であるなど、注目を集める事ができているのであれば、情報発信としては成功していると言えます。一方依然として厳しい状況にあるのが、まちづくり青梅で経営する時間貸駐車場です。利用台数は下げ止まらない状況が続いており、月極めにするなどの改善施策などの対応を引き続き検討していきます。そういった状況で、まちづくり青梅は今の体制を維持できる経営状況が厳しくなってくる事は見えています。経営だけを見て人員を削減し、駐車場だけを経営する会社にする事は早いのですが、今後も攻めた街づくりに貢献する為にも新たな収益事業は検討していきたいと思っています。そんな中、市街地ではクラフトビールの青梅麦酒がオープンします。他に小澤酒造にもお世話になっているチーム澤乃井というイベント団体や、奥多摩でビール造釀を行うバテレもあります。お酒というのは、消費が複雑になってきている現代においても鉄板のコンテンツであり、お金を落としていただける事も確認していますので、こういった飲食店の振興に繋がるようイベントやコトづくりを開拓していきたいと思っています。それから市街地の定住対策については、一端は整理できているなかにはありますが、定住のフックとなる週末観光、御岳山やリバーアクティビティなどとの接続は急務です。そういった事も踏まえた上で、インバウンド対策も視野に入れた街なか週末観光のPRや調査、モデルツアーの実施を目的に、経産省の補助金にエントリーしており、審査を終え交付申請を行うところです。具体的な事業としては、市街地の空き店舗の店舗部分は観光案内所に、住宅部分は民泊施設に改修する他、まち会社の事務所を移転する予定です。大見得きって青梅式の観光モデル事業を謳っているのですが、国の補助金を利用するにあたり雇用や売上など、どれくらいの経済効果を生むかを求められますが、青梅の場合は投資額こそ少ないが上手く情報発信をし、似たような事業を行う民間事業者を呼び込み、その受け皿としてのアキテンポ不動産、アキヤ不動産を考えています。またインバウンドを想定していますので、青梅市の外国人観光客の傾向としては、欧米の方は登山などを好まれ、アジア圏は中国の方が多く、花などの自然を楽しむ傾向にあるようです。最後になりますが、フランス人の写真家が度々青梅を訪れており、その方が青梅の映画看板をテーマに街の方と一緒にドキュメンタリー映画を撮影したいとの希望の元、有志で市民の方が15名ほど集まり活動したいとの事であり、市民の方の希望との事ですので支援を行っています。映画看板という事で、久保板観さんは亡くなられてしまいましたが、青梅は記録を持っていない町と感じており、今回の撮影の中で板観さんの姿も収められているので、記録として残していきたいと思っています。赤塚不二夫会館の館長、国立フィルムセンターの研究員の協力や、浜中市長にもご挨拶に伺わせていただいております。後援をいただける文書も頂いています。こういった市民のモデルになるようなセンスの良い実効的な事業をリードする事で市街地の活性化を推進しながら、センスが良い、住みやすい、様々な

	<p>人が活動する街といったイメージを青梅全域にもたせられればと思います。またそれに向け、誰かがではなく、自分がといった意識を持っていただけるようにもしていきたいと思っています。外部からなかなか見えこないというお話をいただく事が多いかと思いますが、本日もご出席いただいた皆様には私の報告を聞いていただきましたので、ここで聞いた事を福音として皆様にお話ししていただき、それでも厳しい状況に変わりはない市街地ですので、皆で街に投資をしよう、街を使おうと言う事をお話いただきたいと思います。反対に協議会に参画されている皆様にそうしていただかず、まち会社だけの活動を、上から見られるだけでしたら一向に状況は変わっていかないと思いますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。何か質問等ございますか。それでは協議事項です。平成29年度事業報告および収支決算書について</p>
事務局	<p>事業報告ですが、野寄社長と國廣タウンマネージャーのご報告を重複する部分がありますがご報告させていただきます。協議会については、4月18日に第13回協議会、10月19日に第14回協議会を開催させていただきました。視察については、内閣府が主催する稼げるまちづくりセミナーが尾道で開催されましたので、事務レベルで参加させていただきました。視察の受入についてですが、5月11日の佐久市から2月21日の山梨県商工会連合会まで、併せて12地域の方々に視察をしていただきました。交流会については、11月10日に中心市街地活性化協議会関東ブロック交流会、また同じ月の27日には全国中心市街地活性化協議会勉強会に事務レベルで参加させていただきました。タウンマネージャーの採用については國廣さんを採用させていただき、アドバイザー採用については、アキテンポ不動産関係で梅岡アドバイザー、住江町駐車場の交流広場化に向けた検討について佐藤アドバイザーを採用し、事業を推進しました。また、中小機構のご支援をいただける中心市街地商業活性化診断・サポート事業についてですが、釜の淵公園プール跡地の活用について、関係者を含め協議を重ねてきました。最後にその他として、青梅駅前地区市街地再開発準備組合の取り組みについてですが、本来であれば理事長よりご報告を頂きたかったのですが、現在は地権者の合意形成が取れ、協力会社を交えた定例会を重ねているとの事です。なお定例会については、事務局もオブザーバーとして出席をさせて頂いています。また、おうめマルシェ、アキテンポ不動産、アキヤ不動産については、國廣タウンマネージャーよりご報告があった通りです。続きまして、収支決算書です。</p> <p>平成29年度の収入の部ですが青梅市補助金 3,200,000 円、青梅商工会議所補助金 800,000 円、合計 4,000,000 円となっています。次いで支出の部ですが、アドバイザー謝金 1,395,000 円、事務局運営費 211,680 円、旅費 34,691 円、会議費 6,360 円、通信運搬費 20,564 円、消耗品費 248,343 円、借損料 16,695 円、補助事業負担金 2,066,667 円、合計 4,000,000 円となっています。本来であれば、ここで合崎監事より監査の報告をしていただく予定でしたが、急遽出席出来なくなってしまい事務局より代理で報告するようお申し出がありました。先般、4月3日に事務局より合崎監事にご説明をさせていただき、適正である事を認めていただきましたので、ご報告させていただきます。</p>

議長	<p>ありがとうございました。ただ今ご報告いただいた通りでございますが、ご質問やご意見などございますか。それでは続いて、平成30年度事業計画(案)および収支予算書(案)について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事業計画(案)に関しましては、規約に定められた七つの事業について記載させていただいています。続きまして収支予算(案)についてですが、収入の部については、平成29年度と同様に青梅市補助金3,200,000円、青梅商工会議所800,000円、合計4,000,000円です。支出の部についてですが、アドバイザー謝金1,350,000円、事務局運営費200,000円、旅費50,000円、会議費20,000円、通信運搬費20,000円、消耗品費210,000円、借損料50,000円、補助事業負担金2,100,000円、合計4,000,000円としています。なお、先月の30日付で経済産業省よりタウンマネージャーの補助事業が採択されました事を、併せてご報告させていただきます。</p>
議長	<p>ただ今ご報告がありました。今後も今まで通りスピード感を持って進めてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。続きまして、基本計画における平成29年度の取組等について、青梅市よりご説明をお願いします。</p>
青梅市	<p>認定基本計画の進捗管理については、中心市街地の活性化に関する法律、及び中心市街地の活性化を図る基本的な方針に基づき、事業の進捗状況等について毎年フォローアップを実施し、その結果を内閣総理大臣に報告する事が定められています。なおこのフォローアップには、中心市街地活性化協議会としての意見を記載する必要がありますので、本日の協議会において皆様のご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>なかなか意見もし辛いと思いますので、平成29年度の活動状況を踏まえ、中心市街地の活性化に向けた目標値に対する現状値と照らし合わせながら、事務局としてまとめさせていただきました。実績を総論的にまとめたものですので、ご一読いただき委員皆様のご意見を頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
議長	<p>ありがとうございます。お話の通りですが、ご意見等はございますか。</p>
青梅市	<p>ありがとうございます。特にご意見も無いようですので、事務局により取りまとめたいただいた内容を元に、フォローアップとして内閣府へ報告させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。以上で議事は終了となりますが、何かご意見等がある方はいらっしゃいますか。よろしければ、これを持ちまして本日の協議は終了とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。</p>

司会	会長、議事進行をいただきありがとうございました。最後になりますが、次回開催日程です。次回は10月予定とし、事業の進捗状況についてご報告させていただく予定です。また詳細が決まり次第、ご案内をさせていただきますので、よろしくお祈いします。それでは、閉会とさせていただきますが、閉会の挨拶につきまして、池田副会長よりお祈いします。
副会長	皆様、本日はありがとうございました。皆様のご報告を聞かせていただきましたが、実行委員会が組織されるなど事業が定着し、若い方を中心に活気が出てきているのかなと感じました。今後も皆様方のご協力をいただき、中心市街地の活性化に取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしくお祈いします。本日はありがとうございました。
司会	ありがとうございました。以上をもちまして、第15回青梅市中心市街地活性化協議会を終了します。皆様、お疲れ様でした。